観中人権だより

2026年度《No.5》　2026/9/24（木）　観音寺市立観音寺中学校

観音寺中学校人権教育講演会

9月19日（土）に人権教育講演会が開かれました。落語家の桂こけ枝さんをお招きし、「こけ枝のほのぼの人権噺」という演題でご講演いただきました。

桂こけ枝さんは、三豊市出身の落語家で、1990 年代に五代目桂文枝さんに入門しました。古典落語や創作落語に加え、人権・福祉・子育てなど幅広いテーマを取り入れた講演活動にも取り組んでいます。ほのぼのした語り口と笑いを通して、多くの人に落語の魅力や大切なメッセージを届けています。

〈桂こけ枝さんの講演より〉

○　「気にせんでええことは気にせんでええ」
○　「気にせんでええことを周りの人に気にさせたらあかん」
○　「当事者だけで解決できないことは、
　　周りの気づいた人が言ってやらなあかん」
○　「たくさん笑うことは、薬以上の免疫や」



生徒の感想から

○　「気にせんでええことは気にせんでええ」の一言に、今まで張り詰めてしまっていた自分の気持ちが、少し楽になりました。

○　私たちは悩みを抱えて、なかなか元気になれないときが少なからずあります。今日学んだ笑顔になること、友達を笑顔にすることを実践してみたいと思います。また、うじうじ１つのことに対して悩んでいる時間を誰かのために使える人になっていきたいです。こけ枝さんが扇子と手ぬぐいしか与えられていない中、落語で人々の笑顔を作れるように、私も苦しい時間でも精一杯頑張れる人になりたいと思います。

○　私も少しのことで悩んでしまったりすることが多いので、笑って免疫力を高めていこうと思いました。また、「気にさせることをしない」ことを意識して過ごしていきたいです。私はＳＮＳを見ることが多くなってきていますが、たまには落語を聞いて、ほのぼのとした気持ちになれたらいいなと思いました。

○　生きていると、やっぱり頭では分かっているけれど、どうでもいいことをなぜかずっと考えてしまって、そのせいで気が滅入ってしまうことがよくあります。でもそんなことで悩み続けることなんかより、確かにくだらないことで笑って健康で過ごすほうが、よっぽど幸せでいられていいなと思いました。

○　こけ枝さんは、人権の話を真面目に語るだけでなく、おもしろい話や実体験の中に、たしかにと思える人権の話がうまくまざっていて、聞いていてすごく楽しかったし、ためになりました。

○　人生を豊かにするコツを、落語に組みこませて楽しく教えていただいて、前向きに生きるためのコツを学ぶことができました。私はつい、自分のだめなところや社会のネガティブな部分に目がいってしまって、落ちこんだ気持ちになることが多かったので、こけ枝さんの話にあった「気にしないでいいことは気にしなくていい」という言葉がとても心に残りました。
当たり前のように聞こえる言葉だけれど、それが自分の人生を楽に生きる鍵だと思ったし、その後の「気にするようなことを人にもしない」という言葉は、同じように悩んでいる人の気持ちを明るくすることもできて、大切に心に残しておきたいなと感じました。

○　今日の人権講演会で私が思ったことは、どんなときでも笑顔でいることが大切ということです。どんなときでも気にせずに笑顔でいれば、きっと幸運がやってくるのかもしれないと思いました。相手に気にさせないようにするという話を聞いたとき、その思いやりが相手の笑顔を守ると考えると、どんなに小さいことでもやってみるべきだなと思いました。気のせいかもしれませんが、笑ったときに心や身体が軽くなるのを感じました。桂さんの言った通り、人は笑うと少し楽になるのかもしれません。